

京阪電気鉄道株式会社における
運賃改定申請について

(運輸審議会ご説明資料)

令和6年12月12日
鉄 道 局

目 次

(頁)

1. 運賃改定申請について	
○運賃改定申請の概要	2
○運賃改定申請内容について	4
○収入原価総括表	10
○収入原価（平年度内訳）	11
○鉄道事業収支の実績及び推定	12
○運賃収入内訳	12
○需要見通し	13
○設備投資実績と計画	14
○利用者サービスの向上策	15
○他社運賃との比較	19
2. 会社の概要等について	
1. 会社概要	24
2. 輸送人員、運賃収入の推移	24
3. 経常損益等の推移	25
○京阪電気鉄道の路線図	26
3. 京阪電気鉄道の事業計画等について	
○京阪電気鉄道の事業計画等について	28
(参考) 京阪ホールディングス株式会社の概要	
1. 会社概要	33
2. 主要な連結経営指標	34

1. 運賃改定申請について

○運賃改定申請の概要

1. 背景

- ◆京阪電気鉄道は、明治43年の営業開始以来、「安全安心」「快適」「便利」といった価値の根幹を支える鉄軌道事業を中心とする交通ネットワークを提供しながら、駅を拠点としたまちづくりを推進し、地域をつなぐことで沿線の社会、経済、お客さまの暮らしを支え、地域と共に成長してきた。鉄軌道事業では、「安全で安心な旅客輸送サービスの提供」を最大の使命とし、安全かつ安定輸送に向けた取り組みのほかバリアフリー化の推進といった利便性向上に取り組む一方、業務効率化や構造改革によるコスト削減に継続的に努めることで、平成7年の運賃改定以来30年間、消費税率変更に伴う運賃改定を除き、運賃を据え置いて事業を行ってきた。
- ◆しかし、同社は従来から続く沿線の少子高齢化等によるお客さまの減少に加え、コロナ禍を経た新たな生活様式の定着等が減収に拍車をかけ、バリアフリー設備の整備の他にも、安全・安定輸送に必要な車両・変電所等の更新投資や施設・設備の維持修繕がすでに困難となっており、今後もさらに厳しい状況となることが想定される。
- ◆引き続き鉄軌道事業を継続し、永く社会に貢献し続けるためには、安全・安定輸送の確保に必要な既存設備の更新に加え、激甚化する自然災害への対策やカーボンニュートラルといった今日的な社会課題対応への投資も必要不可欠である。
- ◆今後専門的な技術を必要とする鉄軌道事業人材確保に向けた待遇・職場環境改善により人件費も増加することが見込まれるほか、電気料金や物価高騰による経費の更なる増加が懸念される状況において、お客さまサービスのさらなる向上や社会の要請に応える価値を提供するため、構造改革による経費の削減等に継続して取り組むことを前提に、運賃改定を申請するものである。

2. 申請の内容

- (1) 実施予定時期 令和7年10月
- (2) 改定率 上限運賃平均 15.8% (12.4%)
- (3) 初乗り運賃 京阪線上限運賃180円 (現行160円)
(※鉄道駅バリアフリー料金加算後運賃170円)
 大津線上限運賃200円 (現行170円)
(※大津線運賃へのバリアフリー料金加算なし)
- (4) 定期旅客運賃割引率 通勤39.0% (現行39.3%)
 通学81.8% (現行80.5%)
- (5) 改定率・増収率一覧

		上 限 運 賃	
		改 定 率	増 収 率
定期外		15.5% (11.7%)	12.7% (9.7%)
定期	通勤	17.5% (14.4%)	14.4% (11.9%)
	通学	8.8%	7.8%
	計	16.4% (13.7%)	13.5% (11.4%)
合計		15.8% (12.4%)	13.0% (10.3%)

※ () 内、鉄道駅バリアフリー料金加算後運賃比較

○運賃改定申請内容について

1. 改定の考え方

○普通旅客運賃

- ・ 現行の運賃に1.15を乗じ、10円未満を切り上げた運賃とする。

ただし、京阪線1区運賃（初乗り）・2区運賃については10円未満を切り下げそれぞれ180円・240円とする。

○定期旅客運賃

（通勤定期）

- ・ 改定後の普通旅客運賃を基に現行の割引率を適用したうえで、平均割引率と比べ高い割引率となっている一部区間について割引率を引き下げ、10円未満を四捨五入した運賃とする。

（通学定期）

- ・ 改定後の普通旅客運賃を基に、家計への負担に配慮し、改定率を通勤定期の半分程度に抑制するため、現行の割引率を引き上げ、10円未満を四捨五入した運賃とする。

○改定率

- ・ 普通旅客運賃：15.5%（11.7%）
- ・ 定期旅客運賃：16.4%（13.7%）
 - 通勤：17.5%（14.4%）（割引率39.0%）
 - 通学：8.8%（割引率81.8%）
- ・ 全体：15.8%（12.4%）

※（ ）内、鉄道駅バリアフリー料金加算後運賃比較

- 中之島線、鴨東線における加算運賃は変更しない。

2. 申請内容

①普通旅客運賃（大人）

【京阪線】

（単位：キ口、円）

キ口程	現行	申請	差額	改定率
1～3	160	180	20	12.5%
4～7	210	240	30	14.3%
8～12	270	320	50	18.5%
13～17	310	360	50	16.1%
18～22	340	400	60	17.6%
23～28	360	420	60	16.7%
29～34	380	440	60	15.8%
35～40	400	460	60	15.0%
41～46	410	480	70	17.1%
47～52	420	490	70	16.7%
53～54	430	500	70	16.3%

【大津線】

（単位：キ口、円）

キ口程	現行	申請	差額	改定率
1～5	170	200	30	17.6%
6～10	240	280	40	16.7%
11～15	330	380	50	15.2%

②通勤定期旅客運賃（大人1か月）

（単位：キロ、円）

キロ程	現行	申請	差額	改定率
1	4, 100	5, 180	1, 080	26. 3%
2	4, 850	5, 720	870	17. 9%
3	5, 600	6, 300	700	12. 5%
4	6, 350	7, 630	1, 280	20. 2%
5	6, 970	7, 960	990	14. 2%
6	7, 600	8, 680	1, 080	14. 2%
7	8, 250	9, 430	1, 180	14. 3%
8	8, 790	10, 560	1, 770	20. 1%
9	9, 320	11, 040	1, 720	18. 5%
10	9, 870	11, 690	1, 820	18. 4%
11	10, 290	12, 190	1, 900	18. 5%
12	10, 720	12, 710	1, 990	18. 6%
13	11, 140	12, 940	1, 800	16. 2%
14	11, 460	13, 310	1, 850	16. 1%
15	11, 780	13, 670	1, 890	16. 0%
16	12, 110	14, 060	1, 950	16. 1%
17	12, 320	14, 300	1, 980	16. 1%
18	12, 550	14, 760	2, 210	17. 6%
19	12, 780	15, 020	2, 240	17. 5%
20	12, 930	15, 220	2, 290	17. 7%
21	13, 070	15, 380	2, 310	17. 7%
22	13, 220	15, 550	2, 330	17. 6%
23	13, 330	15, 610	2, 280	17. 1%
24	13, 440	15, 670	2, 230	16. 6%
25	13, 570	15, 830	2, 260	16. 7%
26	13, 690	15, 980	2, 290	16. 7%
27	13, 800	16, 100	2, 300	16. 7%
28	13, 890	16, 200	2, 310	16. 6%
29	13, 970	16, 240	2, 270	16. 2%
30	14, 060	16, 290	2, 230	15. 9%
31	14, 140	16, 370	2, 230	15. 8%
32	14, 240	16, 500	2, 260	15. 9%

33	14,320	16,580	2,260	15.8%
34	14,400	16,680	2,280	15.8%
35	14,480	16,710	2,230	15.4%
36	14,570	16,750	2,180	15.0%
37	14,660	16,860	2,200	15.0%
38	14,740	16,950	2,210	15.0%
39	14,830	17,060	2,230	15.0%
40	14,910	17,140	2,230	15.0%
41	14,990	17,340	2,350	15.7%
42	15,070	17,550	2,480	16.5%
43	15,160	17,740	2,580	17.0%
44	15,240	17,860	2,620	17.2%
45	15,310	17,910	2,600	17.0%
46	15,380	18,000	2,620	17.0%
47	15,440	18,040	2,600	16.8%
48	15,500	18,080	2,580	16.6%
49	15,560	18,140	2,580	16.6%
50	15,620	18,230	2,610	16.7%
51	15,700	18,320	2,620	16.7%
52	15,760	18,380	2,620	16.6%
53	15,820	18,430	2,610	16.5%
54	15,890	18,480	2,590	16.3%
55	15,950	18,590	2,640	16.6%
56	16,010	18,710	2,700	16.9%
57	16,080	18,760	2,680	16.7%
58	16,140	18,850	2,710	16.8%
59	16,210	18,900	2,690	16.6%
60	16,270	18,990	2,720	16.7%
61	16,330	19,030	2,700	16.5%
62	16,390	19,070	2,680	16.4%
63	16,470	19,110	2,640	16.0%
64	16,530	19,160	2,630	15.9%
65	16,590	19,230	2,640	15.9%
66	16,650	19,310	2,660	16.0%

③通学定期旅客運賃（大人1か月）

（単位：キロ、円）

キロ程	現行	申請	差額	改定率
1	1,350	1,460	110	8.1%
2	1,630	1,760	130	8.0%
3	1,890	2,030	140	7.4%
4	2,100	2,220	120	5.7%
5	2,320	2,450	130	5.6%
6	2,530	2,670	140	5.5%
7	2,700	2,850	150	5.6%
8	2,870	3,160	290	10.1%
9	3,050	3,350	300	9.8%
10	3,170	3,490	320	10.1%
11	3,310	3,640	330	10.0%
12	3,430	3,770	340	9.9%
13	3,510	3,820	310	8.8%
14	3,600	3,920	320	8.9%
15	3,680	4,000	320	8.7%
16	3,730	4,060	330	8.8%
17	3,780	4,100	320	8.5%
18	3,840	4,200	360	9.4%
19	3,890	4,260	370	9.5%
20	3,940	4,310	370	9.4%
21	3,980	4,350	370	9.3%
22	4,030	4,410	380	9.4%
23	4,070	4,430	360	8.8%
24	4,120	4,490	370	9.0%
25	4,160	4,530	370	8.9%
26	4,200	4,570	370	8.8%
27	4,240	4,610	370	8.7%
28	4,270	4,650	380	8.9%
29	4,300	4,670	370	8.6%
30	4,330	4,700	370	8.5%
31	4,380	4,750	370	8.4%
32	4,410	4,780	370	8.4%

33	4, 430	4, 800	370	8. 4%
34	4, 460	4, 840	380	8. 5%
35	4, 490	4, 850	360	8. 0%
36	4, 520	4, 880	360	8. 0%
37	4, 550	4, 920	370	8. 1%
38	4, 580	4, 950	370	8. 1%
39	4, 610	4, 980	370	8. 0%
40	4, 640	5, 010	370	8. 0%
41	4, 680	5, 100	420	9. 0%
42	4, 700	5, 120	420	8. 9%
43	4, 730	5, 150	420	8. 9%
44	4, 750	5, 180	430	9. 1%
45	4, 770	5, 200	430	9. 0%
46	4, 790	5, 230	440	9. 2%
47	4, 810	5, 240	430	8. 9%
48	4, 830	5, 260	430	8. 9%
49	4, 850	5, 270	420	8. 7%
50	4, 860	5, 290	430	8. 8%
51	4, 890	5, 320	430	8. 8%
52	4, 910	5, 340	430	8. 8%
53	4, 930	5, 350	420	8. 5%
54	4, 950	5, 380	430	8. 7%
55	4, 970	5, 410	440	8. 9%
56	4, 980	5, 430	450	9. 0%
57	4, 990	5, 440	450	9. 0%
58	5, 000	5, 450	450	9. 0%
59	5, 010	5, 460	450	9. 0%
60	5, 020	5, 470	450	9. 0%
61	5, 030	5, 480	450	8. 9%
62	5, 040	5, 490	450	8. 9%
63	5, 050	5, 500	450	8. 9%
64	5, 060	5, 510	450	8. 9%
65	5, 080	5, 520	440	8. 7%
66	5, 090	5, 530	440	8. 6%

○収入原価総括表

(単位：百万円)

科目	令和 5年度 (実績)	令和 6年度 (推計)	令和 7年度 (推計)	平年度3年間合計 (令和8～10年度) (推計)		増収額 c	増収率 d	
				現行 a	申請 b			
				b-a		c÷a ×100		
収入	旅客運賃収入	46,797	46,988	49,464	136,301	154,014	17,713	13.0%
	定期外	31,185	31,326	33,287	90,369	101,866	11,496	12.7%
	定期	15,612	15,662	16,177	45,932	52,149	6,217	13.5%
	特別急行料金等	1,047	1,086	1,104	3,369	3,369	—	—
	運輸雑収等	3,349	3,349	3,349	10,047	10,047	—	—
	小計	51,193	51,423	53,917	149,717	167,430	17,713	11.8%
	雑収入	331	331	331	992	992	—	—
	合計	51,524	51,754	54,248	150,709	168,422	17,713	11.8%
原価	適正コスト	22,988	23,508	24,071	75,519	75,519	—	—
	車両使用料収入等に 係る人件費、経費	90	90	90	270	270	—	—
	その他の運輸雑収等 に係る人件費、経費	2,273	2,333	2,408	7,762	7,762	—	—
	駅共同使用料等に 係る減価償却費等	2,013	2,013	2,013	6,040	6,040	—	—
	動力費等	3,857	4,225	4,173	12,627	12,627	—	—
	賃借料	998	998	998	2,993	2,993	—	—
	固定資産除却費	936	1,105	1,157	2,663	2,663	—	—
	諸税	1,841	1,929	1,950	6,290	6,290	—	—
	減価償却費	7,904	8,798	9,489	32,980	32,980	—	—
	大規模災害等による 損失	10	10	10	29	29	—	—
	小計	42,910	45,008	46,360	147,172	147,172	—	—
	雑支出	86	86	86	257	257	—	—
	法人税等	2,120	2,193	2,238	6,586	6,586	—	—
事業報酬	4,735	4,828	4,969	15,175	15,175	—	—	
合計	49,851	52,114	53,653	169,190	169,190	—	—	
差引損益	1,673	▲361	595	▲18,481	▲768	17,713	—	
収支率	103.4%	99.3%	101.1%	89.1%	99.5%	—	—	

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

○収入原価（平年度内訳）

（単位：百万円）

科目		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		現行	申請	現行	申請	現行	申請
収入	旅客運賃収入	45,531	51,448	45,488	51,400	45,282	51,166
	定期外	30,199	34,041	30,178	34,017	29,992	33,807
	定期	15,331	17,407	15,310	17,383	15,290	17,359
	特別急行料金等	1,119	1,119	1,127	1,127	1,123	1,123
	運輸雑収等	3,349	3,349	3,349	3,349	3,349	3,349
	小計	49,998	55,916	49,964	55,876	49,754	55,639
	雑収入	331	331	331	331	331	331
	合計	50,329	56,246	50,295	56,207	50,085	55,969
原価	適正コスト	24,653	24,653	25,235	25,235	25,630	25,630
	車両使用料収入等に 係る人件費、経費	90	90	90	90	90	90
	その他の運輸雑収等に 係る人件費、経費	2,530	2,530	2,592	2,592	2,639	2,639
	駅共同使用料等に 係る減価償却費等	2,013	2,013	2,013	2,013	2,013	2,013
	動力費等	4,189	4,189	4,218	4,218	4,221	4,221
	賃借料	998	998	998	998	998	998
	固定資産除却費	1,170	1,170	814	814	679	679
	諸税	2,128	2,128	2,096	2,096	2,065	2,065
	減価償却費	10,561	10,561	11,656	11,656	10,763	10,763
	大規模災害等による 損失	10	10	10	10	10	10
	小計	48,341	48,341	49,723	49,723	49,109	49,109
	雑支出	86	86	86	86	86	86
	法人税等	2,230	2,230	2,197	2,197	2,158	2,158
	事業報酬	5,080	5,080	5,084	5,084	5,012	5,012
合計	55,737	55,737	57,089	57,089	56,364	56,364	
差引損益	▲5,408	510	▲6,794	▲883	▲6,279	▲395	
収支率	90.3%	100.9%	88.1%	98.5%	88.9%	99.3%	

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

○鉄道事業収支の実績及び推定

(単位：百万円)

項目	令和5年度 (実績)	令和8～10年度 (3年間平均)	
		現行	申請
収入	51,524	50,236	56,141
原価	49,851	56,397	56,397
差引損益	1,673	▲6,160	▲256
収支率	103.4%	89.1%	99.5%

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

○運賃収入内訳

(単位：百万円)

項目	令和5年度 (実績)	令和8～10年度 (3年間平均)	
		現行	申請
定期外	31,185	30,123	33,955
定期	15,612	15,311	17,383
合計	46,797	45,434	51,338

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

○需要見通し

(単位：千人)

項目	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	
定期外	145,194	90,480	97,159	115,075	126,856	
定期	通勤	103,963	91,012	87,512	89,190	92,995
	通学	43,150	26,234	34,048	38,763	39,701
	計	147,113	117,246	121,560	127,953	132,696
合計	292,307	207,726	218,719	243,028	259,552	
前年比	—	71.1%	105.3%	111.1%	106.8%	

(単位：千人)

項目	令和6年度 (推定)	令和7年度 (推定)	令和8年度 (推定)	令和9年度 (推定)	令和10年度 (推定)	
定期外	127,430	127,440	124,006	123,919	123,156	
定期	通勤	93,336	92,445	91,045	90,903	90,762
	通学	39,701	39,520	39,324	39,324	39,324
	計	133,037	131,965	130,369	130,227	130,086
合計	260,467	259,405	254,375	254,146	253,242	
前年比	100.4%	99.6%	98.1%	99.9%	99.6%	

○設備投資実績と計画

(単位：億円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績	実績	実績	実績	実績
安全	54	87	36	34	60
サービス改善	21	31	5	9	35
合計	75	118	40	44	95

(単位：億円)

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	計画	計画	計画	計画	計画
安全	113	122	118	77	56
サービス改善	37	41	35	30	33
合計	150	162	154	107	89

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

○利用者サービスの向上策

令和8年度から令和10年度までの間、鉄道の運行に必要な各種設備の維持・管理に加え、下記の施策にも取り組んでいく。

① 京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業

（令和8年度～令和10年度の投資額計：約23億円）

事業主体である大阪府と協力し、寝屋川市駅から枚方市駅間で実施している連続立体交差事業を着実に進める。

<終点方取付部付近斜面切取工事(現状)> <完成イメージ>



区間	寝屋川市駅～枚方市駅間
距離	5.5km
踏切除去数	21箇所

② 車両の更新・リニューアル工事

（令和8年度～令和10年度の投資額計：約63億円）

製造から約50～60年を経過する通勤車両を中心に、バリアフリー対応や環境にも配慮した13000系車両への更新を進める。

製造から30年を経過する通勤車両を中心に、バリアフリー対応や車内案内表示器の設置によるサービス向上を推進する。

<13000系（新造車両）>



<更新対象車両（2200/2400/2600系車両）>



③ 防犯対策（車内防犯カメラ設置加速）

（令和8年度～令和10年度の投資額計：約5億円）

車内セキュリティ強化の観点から整備を加速し、令和10年度までに京阪線全車両への車内防犯カメラの設置を進める。



④ 防災対策

（令和8年度～令和10年度の投資額計：約9億円）

高架橋などの耐震補強や橋梁の洗掘対策工事を着実に実施する。

<耐震補強工事>



<橋梁洗掘対策>



⑤ バリアフリー設備の整備

(令和8年度～令和10年度の投資額計：約37億円)

令和8年度から令和10年度にかけて8番線での可動式ホーム柵の整備を進めるほか、モニター付きインターホンの新設やエレベーター更新を推進する。

<可動式ホーム柵>



<モニター付きインターホン>



⑥ 駅・車内環境の継続的な改善

(令和8年度～令和10年度の投資額計：約12億円)

駅トイレについて、より快適にご利用いただけるよう引き続きリニューアルを進めるほか、駅構内照明のLED化を推進する。

<駅トイレリニューアル>



⑦ 次世代駅務機器の導入・更新

(令和8年度～令和10年度の投資額計：約16億円)

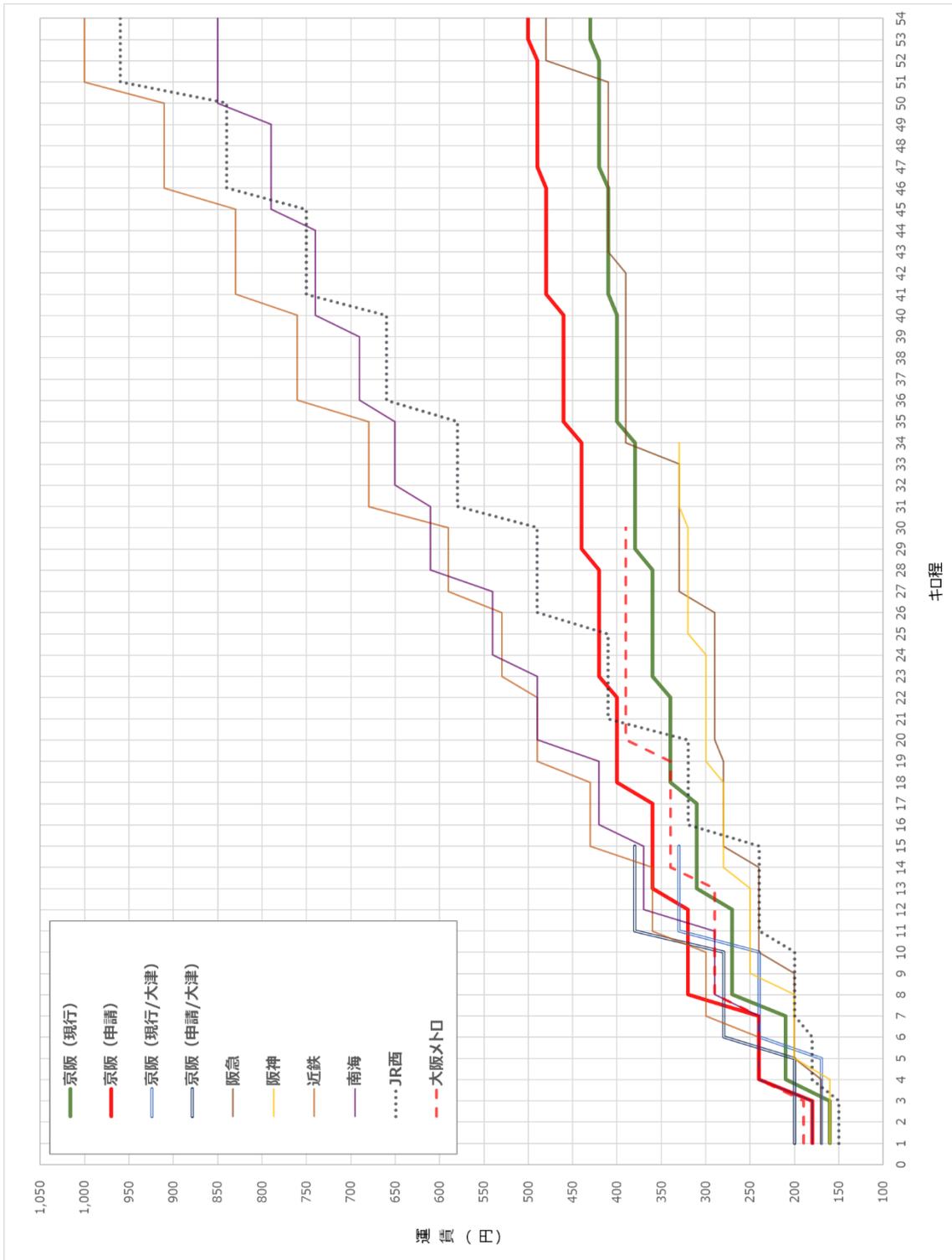
脱磁気化を見据えた新型自動定期発行機の導入等各種駅務機器更新を実施する。また、WEBによる定期券予約サービスの導入を推進する。

<新型自動定期発行機（イメージ）>



○他社運賃との比較

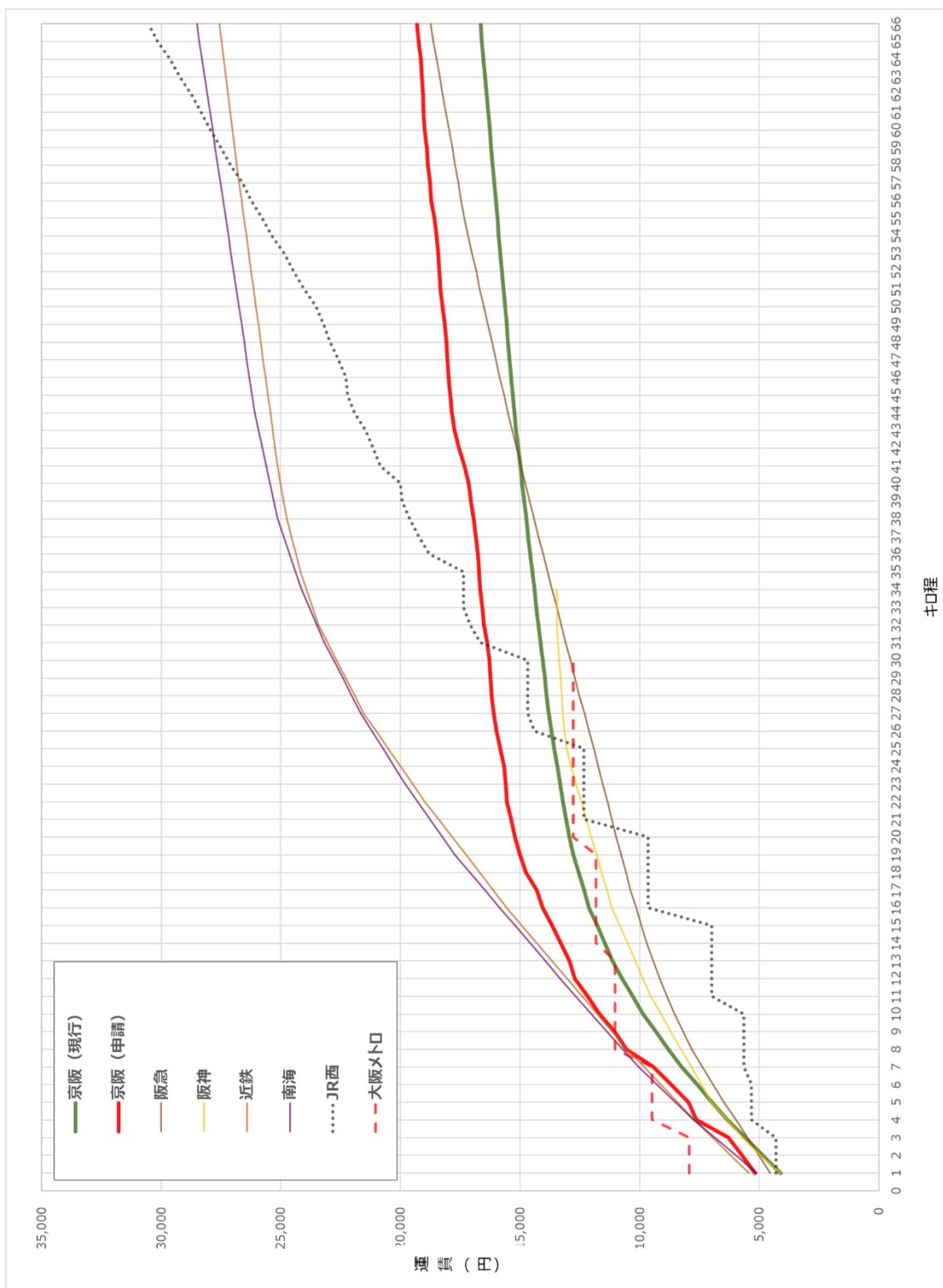
(普通運賃 1~54キロ)



※JR 西日本の運賃は鉄道駅バリアフリー料金反映後かつ令和7年4月1日より適用
 予定の電車特定区間の運賃を記載

※阪急、阪神、大阪メトロの運賃は、鉄道駅バリアフリー料金反映後の運賃を記載

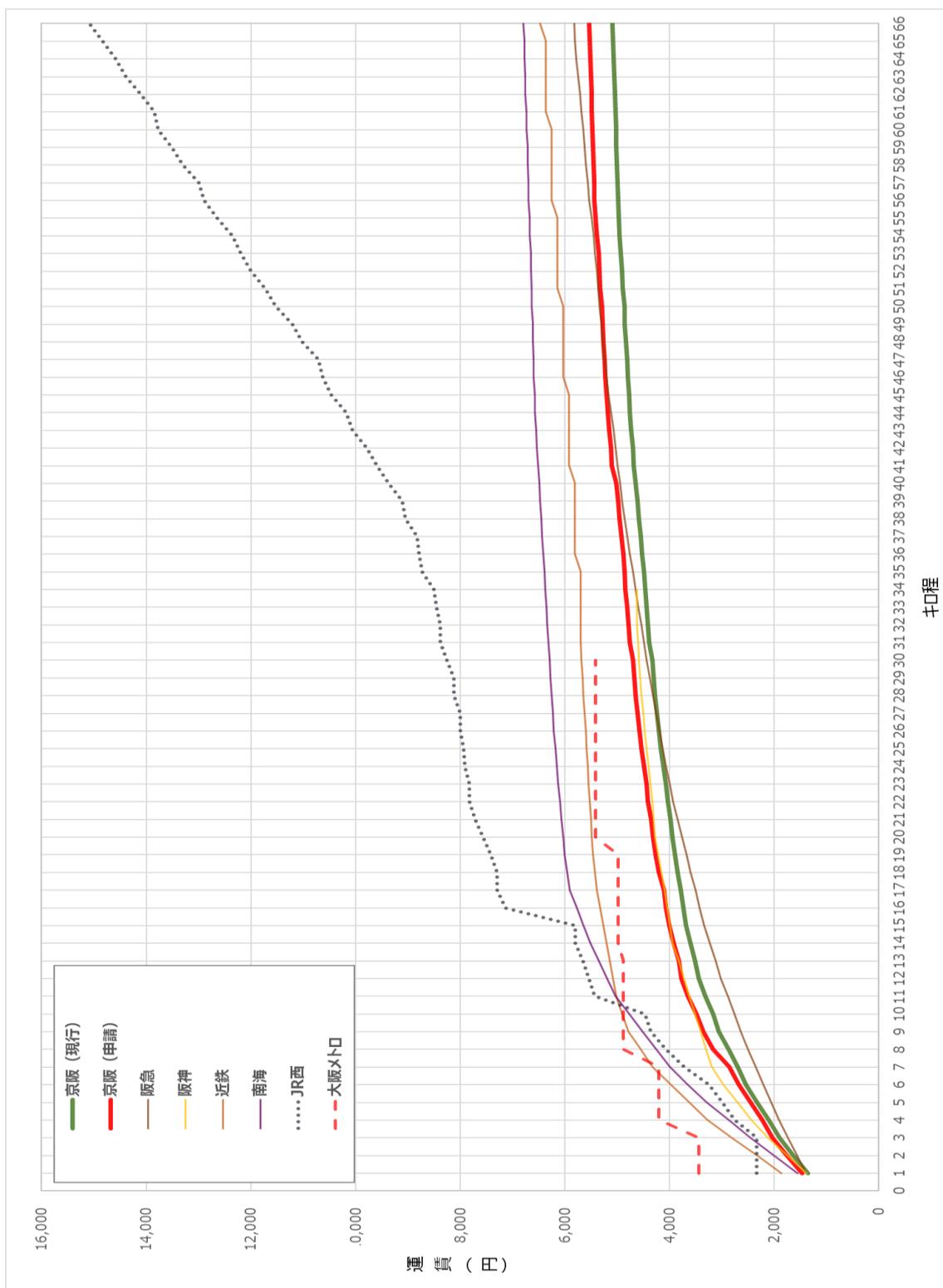
(通勤定期旅客運賃 1～66キロ)



※JR 西日本の運賃は鉄道駅バリアフリー料金反映後かつ令和7年4月1日より適用
 予定の電車特定区間の運賃を記載

※阪急、阪神、大阪メトロの運賃は、鉄道駅バリアフリー料金反映後の運賃を記載

(通学定期旅客運賃 1～66キロ)



※JR 西日本の運賃は令和7年4月1日より適用予定の電車特定区間の運賃を記載

(競合区間での他社との比較)

区間	種別	京阪電気鉄道		競合	
		現行 (円) ※鉄道駅バリアフリー料金 を含む	申請 (円)	社名 区間	現行 (円) ※鉄道駅バリアフリー料金 を含む
淀屋橋 ～ 祇園四条	普通	430	490	阪急 大阪梅田 ～ 京都河原町	410
	通勤	15,930	18,140		16,180
	通学	4,850	5,270		5,270
京橋 ～ 七条	普通	420	480	JR西日本 京橋 ～ 京都	840
	通勤	15,610	17,860		22,590
	通学	4,750	5,180		10,710
北浜 ～ 祇園四条	普通	430	490	阪急 天神橋筋六丁目 ～ 京都河原町	410
	通勤	15,930	18,140		15,660
	通学	4,850	5,270		5,160
淀屋橋 ～ 守口市	普通	280	320	大阪メトロ 東梅田 ～ 守口	290
	通勤	9,690	11,040		11,030
	通学	3,050	3,350		4,880
東福寺 ～ 宇治	普通	320	360	JR西日本 東福寺 ～ 宇治	240
	通勤	11,830	13,310		6,990
	通学	3,600	3,920		5,800

※JR 西日本の運賃は鉄道駅バリアフリー料金反映後かつ令和7年4月1日より適用予定の電車特定区間の運賃を記載

※阪急、大阪メトロの運賃は、鉄道駅バリアフリー料金反映後の運賃を記載

2. 会社の概要等について

京阪電気鉄道株式会社の概要

1. 会社概要

- (1) 設立：平成27年4月1日
(平成28年4月1日付で「京阪電気鉄道分割準備株式会社」から商号変更)
(明治43年4月15日天満橋－五条間（現清水五条）で営業開始)
- (2) 会社名：京阪電気鉄道株式会社
- (3) 代表者：代表取締役社長 平川 良浩
- (4) 所在地：大阪府枚方市岡東町19-1
ステーションヒル枚方オフィスA
- (5) 従業員数：1,286人（令和6年3月31日時点）
- (6) 営業キロ：91.1km
(うち鉄軌道線 90.7km、うち鋼索線 0.4km)
- (7) 資本金：1億円
- (8) 事業内容：鉄軌道事業、遊園地業

2. 輸送人員、運賃収入の推移

(単位：千人、百万円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
輸送人員	定期	147,461	117,522	121,843	128,230	132,988
	定期外	145,643	90,676	97,391	115,377	127,155
	計	293,104	208,198	219,235	243,608	260,144
運賃収入	定期	17,103	13,974	14,096	14,663	15,612
	定期外	33,817	21,169	23,118	27,513	31,257
	計	50,919	35,143	37,214	42,176	46,869

※鋼索線含む

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

3. 経常損益等の推移

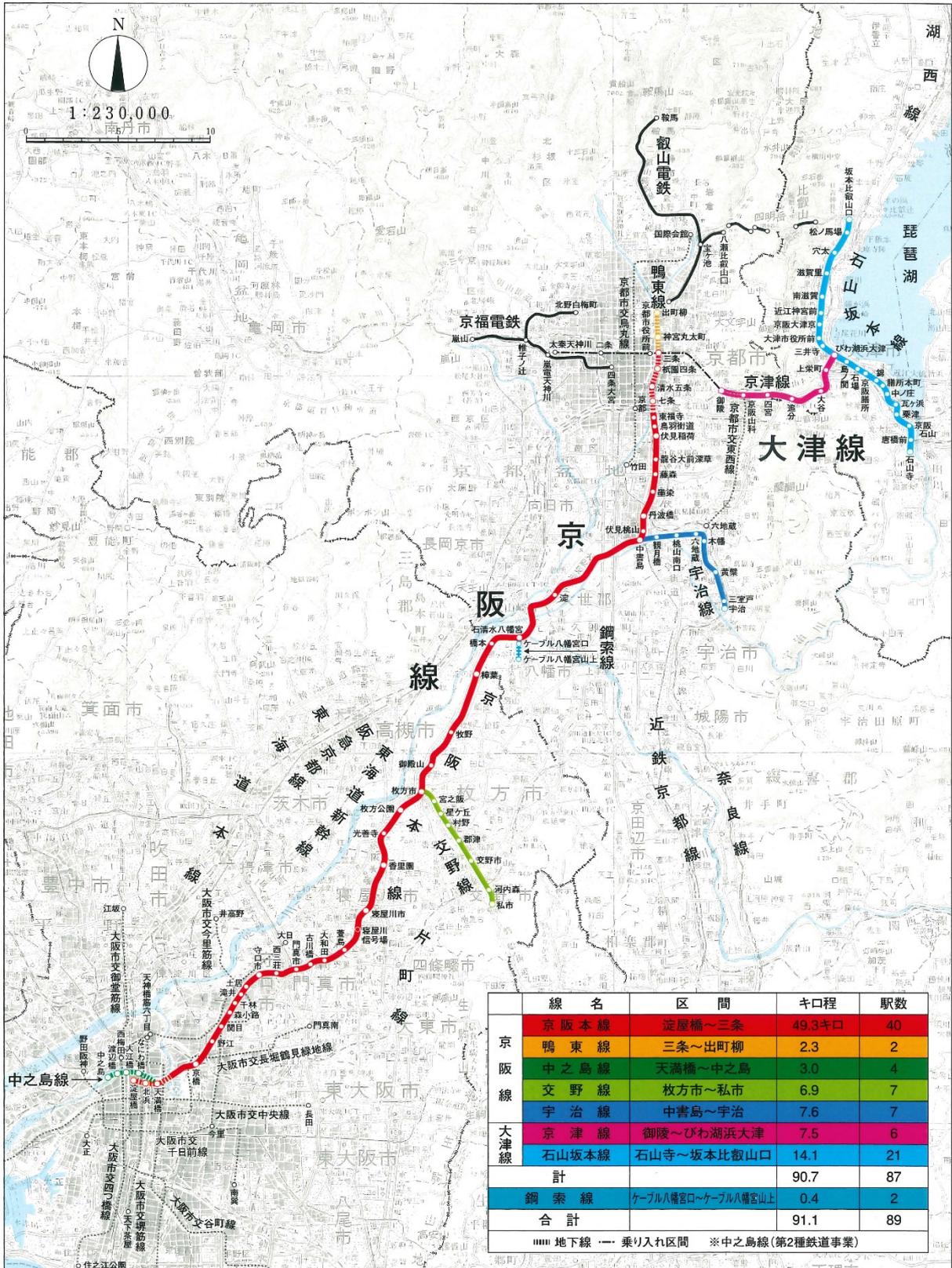
(単位：億円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
営業収益	584	401	429	489	544
営業損益	88	▲55	11	51	64
経常損益	79	▲59	9	47	60
当期純損益	53	▲38	7	35	39

○京阪電気鉄道の路線図

京阪電鉄路線図

2019年10月1日現在

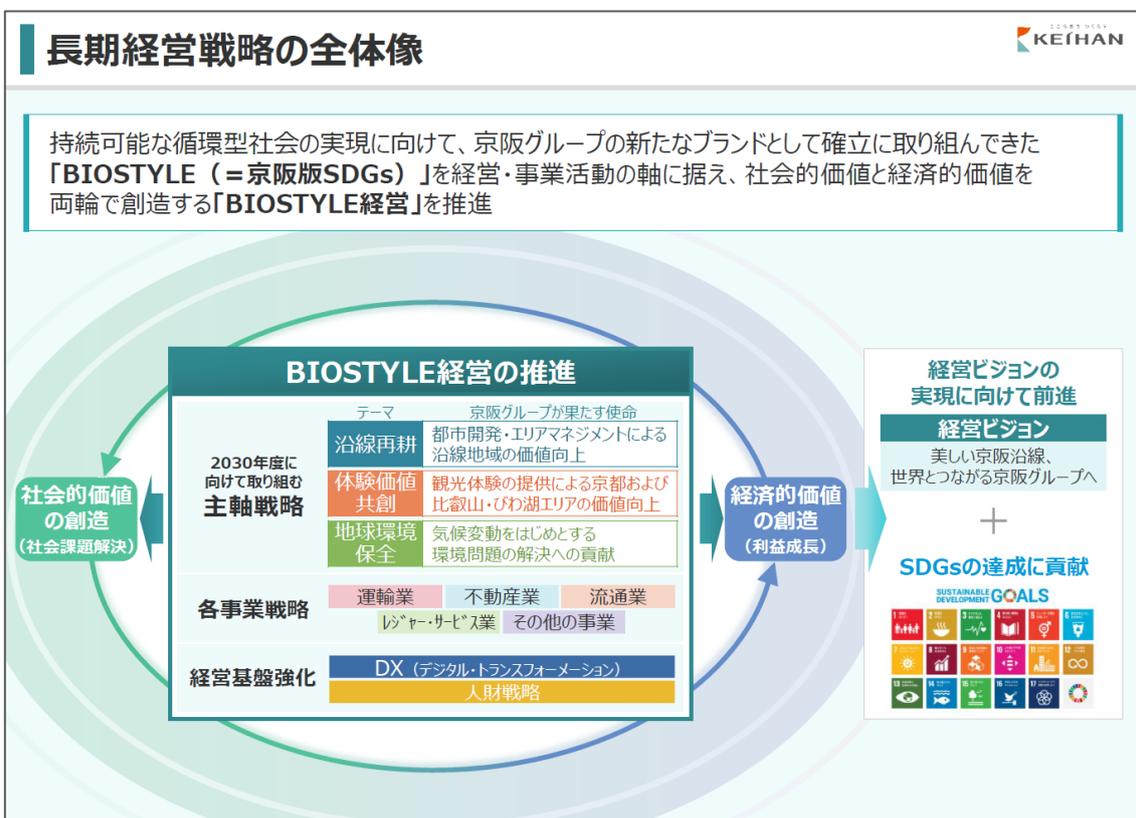
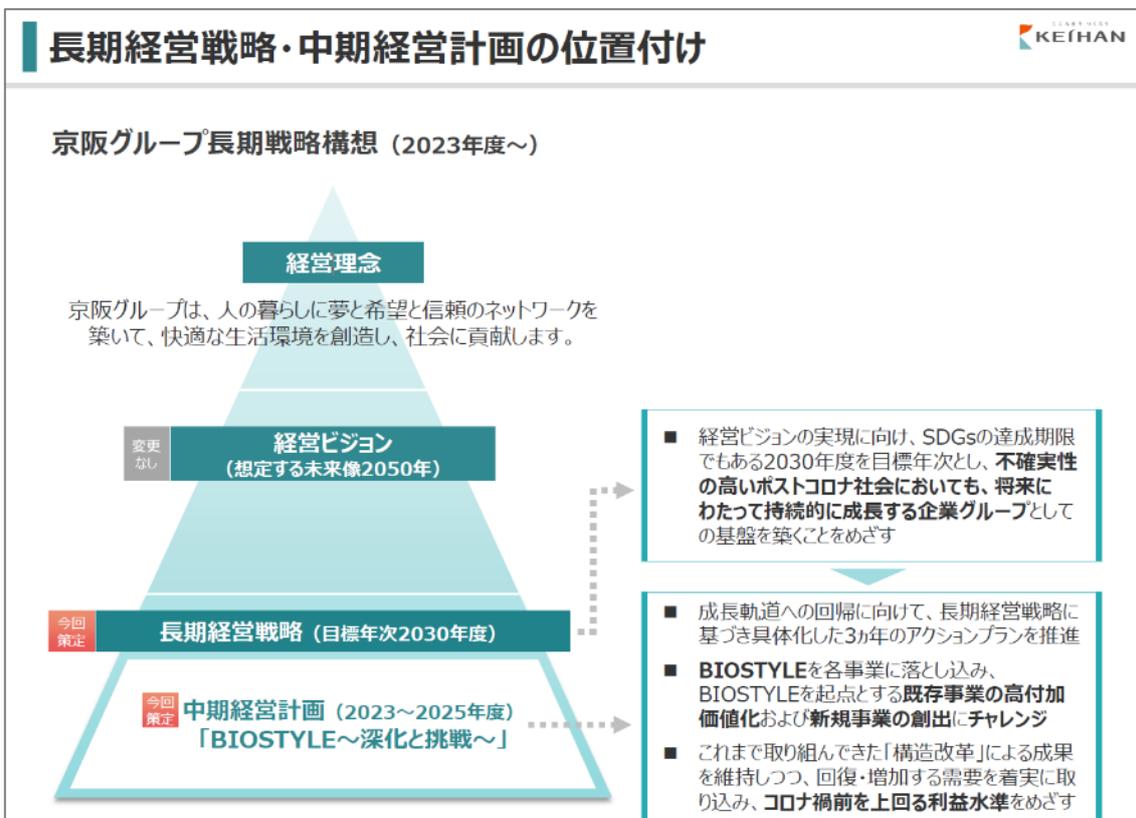


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図を複製したものである。(承認番号 令元近復、第12号)」

3. 京阪電気鉄道の事業計画等について

○京阪電気鉄道の事業計画等について

2023年3月公表 京阪グループ長期経営戦略・中期経営計画より抜粋



長期経営戦略 主軸戦略（沿線再耕）

基本方針

駅を拠点として、地域の歴史・文化・産業などの特色を活かした都市開発や地域と連携したエリアマネジメントを推進し、これらを交通ネットワークで結ぶことで、魅力あふれる美しい沿線を再生、沿線地域の価値向上および居住・来訪者の拡大を図る

重点施策① 大阪東西軸復権

- 京都への玄関口で大阪城に近接する京橋から再生医療拠点をめざす中之島を経て、IR計画のあるベイエリアに至る大阪東西軸に沿って、地域の特色を活かした都市開発を推進

中之島4丁目

未来医療国際拠点整備事業

竣工時期 2023年度
延床面積 約57,000㎡
詳細は17ページ参照



中之島4丁目 自社敷地開発

なにわ筋線開業を見据えて、隣接地権者との共同開発を検討

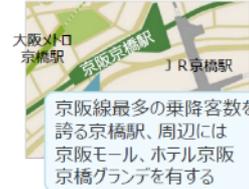
京阪御堂筋ビルおよび日土地淀屋橋ビルの共同建替

開業時期 2025年夏
延床面積 約72,850㎡
詳細は17ページ参照



京橋駅周辺再開発

大阪東西軸復権の重要エリアとして、拠点開発の着手に向けて検討を推進



天満橋駅周辺再開発 中之島線延伸

2030年以降の将来を見据えて、実現に向けた検討を深化

10

長期経営戦略 主軸戦略（沿線再耕）

重点施策② えきから始まるまちづくり

- 駅周辺に都市機能の集積を図るとともに、地域企業や地域社会と協働して歴史や文化をはじめ地域の特色を活かしたまちづくりを連続的に展開
- 駅を単なる乗降場から、駅とまちが一体となり、人々が集い新たなコミュニケーションが生まれる空間へと進化

枚方市駅周辺地区

第一種市街地再開発事業

開業時期 2024年夏頃
延床面積 約94,000㎡
詳細は17ページ参照



京阪本線（寝屋川市・枚方市）連立事業に伴う駅周辺整備

線路により分断された市街地の一体化による地域発展に向けて、新高架駅および高架下の整備を検討



橋本駅前開発

駅周辺の自社敷地を活用し、多世代が集い安心して住み続けられる持続可能なまちづくりを推進

門真市駅前・古川橋駅北側再開発

門真市駅では、駅前商業施設「門真プラザ」の再整備、また、古川橋駅では、北側市有地における門真市初のタワーマンションおよび商業棟の開発、地域に開放された広大な広場の設置等、再開発事業に参画



11

長期経営戦略 主軸戦略（体験価値共創）

基本方針

京都観光ゴールデンルートを中心に価値ある資源を発掘し、磨き上げ、エリアの魅力あふれる体験コンテンツを地域と共創、これらを活用した「観光まちづくり」「テーマツーリズムの提供・発信」により、持続可能な観光の推進と国内外からの来訪者・リピーターの増加を図る

重点施策① 新たな観光拠点の開発

- 京都市立芸術大学（2023年、京都駅東部に移転）に近接する**京都市東南部エリア**および東山の観光名所に程近い**三条**等において、京都観光の新たな選択肢となる拠点を開発

京都駅東南部エリアプロジェクト

竣工時期 2024年度
延床面積 約10,000㎡
詳細は17ページ参照



三条駅周辺再開発

三条駅前に、東山観光の拠点となる、日本や京都の文化を発信する複合施設の整備を推進し、ターミナル機能を強化



京都タワー再整備

2030年度以降の将来を見据えて、「京都タワー」の再整備について検討を深化

比叡山頂リニューアル

比叡山頂のリニューアルを実施し、観光魅力の向上を図る



長期経営戦略 主軸戦略（体験価値共創）

重点施策② テーマツーリズムの造成による京都観光ゴールデンルートの確立

- 京都および周辺エリアにおいて、伝統産業・アート・食・歴史・自然等をテーマとする**ストーリー性の高い観光体験を地域と共創**するとともに、**MaaS**等を活用して快適なエリア周遊を実現することで、京都観光ゴールデンルートを確立

京都観光ゴールデンルート「洛北～東山～伏見・宇治」



各エリアにおける地域との観光体験の共創

東山～京都駅エリア

テーマ「伝統産業・アート」

歴史と伝統に育まれてきた伝統産業、新しく生み出される芸術をより深く体験・体感する**クラフト・アートツーリズム**を地域と連携して造成
三条駅周辺再開発とも連動

比叡山・びわ湖・奥京都エリア

テーマ「歴史」「自然」

比叡山や奥京都の歴史・文化を学ぶとともに、豊かな自然や景観を活かした**アドベンチャーツーリズム**を比叡山・びわ湖DMO等と連携して確立

伏見・宇治エリア

テーマ「食と食にまつわる伝統・文化」

伏見の名水が生み出す日本酒や野菜、宇治の茶等を軸に、関連する文化や伝統を絡めた**ガストロノミーツーリズム**を地域と連携して造成

重点施策③ 京都と大阪をつなぐ観光コンテンツの創造

- びわ湖から京都、淀川を経て大阪湾に至る、豊かな歴史と文化、景観に彩られた「**水の路**」について、「びわ湖疏水船」の大津港延伸、伏見－枚方間の大型船就航に向けた流況改善、淀川大堰閘門の整備等を機に、舟運（川船・海船）を中心とした観光・体験コンテンツの造成を促進
- 京都や大阪・中之島美術館等と連携し、「**アート**」をテーマとする京阪エリア独自の観光コンテンツを造成・魅力発信することで、京阪線の利用を促進



長期経営戦略 主軸戦略（地球環境保全）

省エネの徹底・新技術導入

- 設備投資や事業運営の効率化により、エネルギー使用量およびCO₂排出量を削減

主な投資内容

- ・ 鉄道事業における省エネルギー車両の導入加速
- ・ 電気バスの導入推進
- ・ 駅・オフィスビル・商業施設・ホテル等の保有施設の照明の100%LED化
- ・ 新規開発ビルにおけるDBJ Green Building認証の取得
- ・ 空調・ガス等設備の運用最適化および更新

創エネの推進

- 当社グループの保有施設への太陽光発電設備等の設置を推進
- 当社グループ敷地外における太陽光発電設備設置スキームへの参画を検討



京阪本線「伏見稲荷駅」に太陽光発電設備を設置予定(2024年度)

再エネの調達

- Jクレジットや非化石証書などの購入

GOOD NATURE STATIONにて、実質再エネ100%の電力での運営を開始(2023年度)



脱炭素社会で選ばれる商品・サービスの展開

- 「創エネの推進」「再エネの調達」を通じて、脱炭素社会で選ばれる新たな商品・サービスを開発
- 不動産販売業において分譲する新築戸建住宅に、居住者の初期費用負担なしで太陽光発電設備を設置するサービスの提供を開始



情報開示の取り組み

- サプライチェーン全体のCO₂排出量削減に向けて、情報開示ならびに具体的な削減の取り組みを推進

サーキュラーエコノミーの推進

- 廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の実現に貢献

15

中期経営計画 各事業戦略（運輸業）

京阪グループの存立の基盤である「安全安心」にさらに磨きをかけながら、新たな需要創造とオペレーションの最適化を推進し、強固な事業構造を構築する

BIOSTYLE経営 主要施策

より環境にやさしい交通事業の推進

- 京阪本線連続立体交差事業の推進（踏切除去による交通渋滞の解消とCO₂排出量削減）
- 京阪電気鉄道において、環境配慮型車両13000系車両の導入を加速
- 京福電気鉄道においても、VVVFインバータ制御装置や回生ブレーキを装備した車両の導入、既存車両への回生ブレーキ化改造と回生電力貯蔵装置新設を実施
- バス事業（京阪バス等）における電気バスの導入拡大
- 効率的な車両運用の推進
- 駅をはじめとする鉄道設備のLED化推進



さらなる安全安心への取り組み

京阪電気鉄道

- ホームドアなどバリアフリー設備の整備、更新を加速



ホームドアは、2025年度までに枚方市駅など計4駅8番線に設置

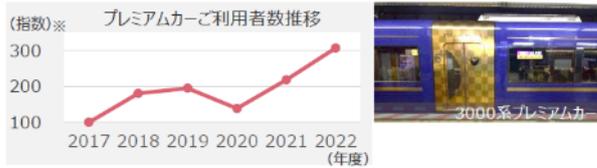
- 新造・改造車両への車内防犯カメラ設置
- 京阪本線連続立体交差事業の推進（踏切除去による運転保安度向上）

脱炭素社会への貢献およびコスト削減を実現するとともに、持続可能な輸送体制を構築

18

京阪電気鉄道における特別な乗車体験の提供

- お客さまのライフスタイルの変化や安心して移動できるサービスへのニーズの高まりを受け、上質な移動体験のさらなる提供に向けて、**プレミアムカーの増備**を実施



- 沿線エリアへの誘客強化に向けて、**観光列車**の導入を検討

デジタル技術の活用等によるオペレーション変革

- IoT・AI・ロボット等の活用による労働力の代替補完を推進

京阪電気鉄道

- ・ **ワンマン運転**の拡大検討
- ・ 効率的な車両・鉄道施設の運用
- ・ CBM (Condition Based Maintenance : 状態基準保全) の推進など、保守業務におけるDX推進



バス事業

- ・ **自動運転**の導入検討

新たな移動需要の取り込み

- 2023年度にグランドオープンする「**京都競馬場**」や、2025年度開催の「**大阪・関西万博**」、2029年度の開業をめざす「**大阪IR**」など、新たな移動需要の創出が期待される機会に対し、鉄道・バスの連携による積極的な営業施策を展開
- インバウンド誘致に向けて、**MaaS**の活用や**QRコード乗車券**導入による観光の利便性向上を図るほか、京都観光における沿線寺社仏閣・各種観光施設および各種交通機関との連携を強化

バス営業所および路線の在り方検討

- バス事業各社で有する営業所および路線について、**統合も含めた在り方を検討**し、事業全体での効率的で持続可能な事業運営をめざす



(参考) 京阪ホールディングス株式会社の概要

1. 会社概要

- (1) 設 立：昭和24年11月25日
(前身の「京阪電気鉄道株式会社」は明治39年11月19日創立)
(平成28年4月1日付で「京阪電気鉄道株式会社」から商号変更)
- (2) 会 社 名：京阪ホールディングス株式会社
- (3) 代 表 者：代表取締役社長 石丸 昌宏
- (4) 所 在 地：大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 (0MM)
- (5) 従業員数：119人 (令和6年3月31日時点)
- (6) 資 本 金：51,466百万円 (令和6年3月31日時点)
- (7) 連結会社：連結子会社 38社
持分法適用関連会社 2社
(令和6年3月31日時点)
- (8) 主な子会社：京阪電気鉄道株式会社
京阪電鉄不動産株式会社
株式会社京阪百貨店
株式会社ホテル京阪

2. 主要な連結経営指標

(単位：億円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
営業収益	2,581	2,601	3,021
営業損益	134	205	339
経常損益	165	205	331
親会社株主に帰属する 当期純損益	96	176	249
純資産額	2,559	2,735	3,048
総資産額	7,373	7,748	8,202
有利子負債	3,453	3,416	3,383